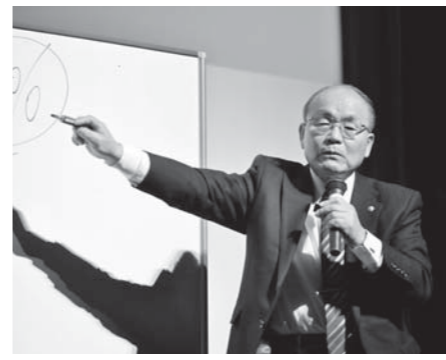


「やねだん」講演会

1月30日、小川総合福祉センターあじさいホールにて、なかがわ町民大学が開催され、鹿兒島県鹿屋市の柳谷公民館長の豊重哲郎さんによる「やる気を起こせば、必ず奇跡が起る」と題した講演が行われました。



なす風土記成果発表会

2月20日、なす風土記の丘資料館小川館で、風土記の丘成果発表会・遺跡発表会が開催され、延べ147人が参加しました。



成果発表会では、中学生や歴史解説員養成講座受講生らが、当施設を利用して体験や学習を行った成果を発表しました。小川中学校1年生の皆さんは、「縄文土器について」「竖穴住居について」など、総合学習の授業で地域の歴史について学んだ成果をグループ毎に発表しました。



馬頭中学校立志式

2月4日、馬頭中学校では立志式が行われ、2年生91名とその保護者などが参加しました。

郡司恵一校長から「15歳というのは、孔子にちなんで人生の節目と考えられています。自分のいい所を考え、自分自身をかえりみてくださ」とあいさつ。その後、生徒一人ひとりが壇上に上がり、「二人一言宣言」を行い、色紙に漢字一文字で表した色紙を掲げ、自分の決意を述べました。

子育て支援センターでお雛さま

2月23日、子育て支援センターでは、3月3日のひなまつりのためのひな飾りづくりを行い、親子9組19名が参加しました。



今回は、いろいろな色や模様の色紙を使って、お内裏様とお雛様を親子で作り、紙皿に飾り付けました。先生の手本を参考に赤や青の色紙を使い、思い思いのひな飾りが完成しました。最後に、皆さんにひなあらが配られると、参加した子どもたちはおもしろそうにほお張っていました。

青少年健全育成町民大会

2月27日、小川総合福祉センターあじさいホールにて、青少年健全育成町民大会が開催され、青少年健全育成に関する表彰が行われました。



また、ベストセラー『世界がもし100人の村だったら』の著者で貧困に喘ぐ世界の子供たちへの教育支援活動をしている池田香代子さんによる講演では、観客の皆さんは「恵まれた環境にいる自分たちが、今できることは何か」について考えさせられました。

小川南小学校児童が茶道体験

2月25日、小川南小学校の6年生児童9名が長泉寺を訪れ、茶道を体験しました。



その後、茶道部の先生たちから実際に茶道を体験しました。ほとんどの児童が初体験だったため、最初は独特の作法に戸惑っていましたが、少しずつ落ち着いてできるようになり、卒業記念の良い思い出になったようです。

馬頭小学校でふれあい技能体験学習を実施

2月25日、馬頭小学校でふれあい技能体験学習を開催、6年2組の児童34名が落款づくりを体験しました。

まず、大金典夫校長から「日本には素晴らしい技術を持った人たちがたくさんいます。プロの技術を学ぶことで新しい発見をして、これから先の中学校生活に活かしてください」とあいさつがあり、その後、7名の印章彫刻技能士の方が講師となり、児童たちの作業を見て回りながら指導し、児童たちはそれぞれ鉄筆を使い、一生懸命に石を彫っていました。

なすみなみ若鮎伝競走大会及び小学生駅伝大会

2月27日、なすみなみ若鮎伝競走大会及び小学生駅伝競走大会が、大桶運動公園を発着点に那珂川沿道一周する全長25km(6区間)のコースで行われ、37チームが早春の八溝路を力走しました。



- 当町からの出場チームの結果
- 【なすみなみ若鮎伝競走大会】
 - 3位 那珂川町体育協会A
 - 8位 那珂川町体育協会B
 - 30位 那珂川町体育協会C
 - 36位 吉野工業所A C I A
 - (小学生駅伝競走大会)
 - 【男子の部】
 - 5位 小川那珂クラブA
 - 【年少の部】
 - 5位 小川那珂クラブC

久那瀬地区で地域の名所旧跡を探検

2月27日、町体育協会久那瀬支部では、久那瀬公民館を発着点に「くませ探検」を開催しました。



この探検は、手渡されたヒントを頼りに久那瀬地区の名所旧跡を巡り、各チェックポイントでクイズやゲームをしながら、和牛や猪肉、鮎などの地元食材を手に入れ、ゴールを目指します。岡渾一支部長から「最高の和牛肉を目指して頑張ってください」とのあいさつの後、一斉にスタートしました。